

◎内発的動機づけ

今日で1年生が終わります。入学時の緊張した雰囲気とは異なり、学校生活にも慣れてきたのではないのでしょうか。生活に慣れが出てくると目的意識や頑張る理由(動機)がないとその場の環境に流されていくものです。下記のように言う人がいます。

教師は、生徒の動機づけをつくることはできない。実際のところ、誰も他人の動機をつくることはできない。教師は物事を魅力的なもの、刺激的なものにすることはできる。また、動機づけのためのよい機会や誘引を与えることもできる。(ウラッドコースキー 1991)

つまり、自分自身の行動を促すためには、頑張る理由(動機)が必要になり、あなた自身がその動機をつくる必要があります。動機づけには「外発的動機づけ(テストで良い点数をとりたから勉強するなど)」と「内発的動機づけ(学ぶこと自体が楽しいから勉強する)」があります。必要に応じて外発的に行動を促すことも大切ですが、物事に興味関心を持ち、主体的に行動できる「内発的動機づけ」が大切になります。内発的に学習意欲を高めるために「やる気を出すためにはどうしたらよいか」とただ漠然と考えるより、「なぜやる気がでないのか」を以下の4つの側面からチェックし、それに応じた作戦を立てると効果的になるのではないかとされています。

注意 (Attention) おもしろそうだな	関連性 (Relevance) やりがいがありそうだな
自信 (confidence) やればできそうだな	満足感 (Satisfaction) やってよかったな

ARCS モデル (ジョン・M・ケラー)

学習に特化して考えるとどうでしょうか。日々の積み重ねが必要で、苦労が伴う勉強を「おもしろそうだな」と思うことは難しいかもしれません。苦労した結果、得ることのできるものがわからない限り「やりがいがありそうだな」と思えないかも知れません。もしかするとこの4つの側面を満たすためには、それなりに先を「見通す力」が必要なのではないのでしょうか。「見通す力」を得るためには、何かに取り組み、成果を残すことを積み重ねる必要があります。何かに一生懸命に取り組み、やり遂げた経験があるからこそ、「やればできそうだな」と思えるのではないのでしょうか。

来月からは新学年になります。現状に満足し、何もしない生活では自分に足りない4つの側面は満たされません。あなた自身の動機を見つけるために、そして、4つの側面を満たすために目の前にある課題にトライし、先を見通す力を得てください。

裏面もあります⇒

◎ 4 月当初及び行事予定

4 月 8 日(月)

8:30 までに登校し、新クラスを確認する。「新クラス名簿」は 8:00 頃、2 年生の教室前に掲示されます(靴箱は 3 年間変わりません)。

8 : 3 5	旧クラスで SHR 配付物を受け取り移動する。 その後、新クラスでの SHR に参加する。
9 : 0 0 頃～	大掃除・新任式・始業式(体育館)・LHR ※2 年 1 組、2 組の生徒は入学式場設営の業務があります。

〈当日の持ち物〉黒インクのボールペン等の筆記用具、体育館シューズ、個人ロッカーの鍵、雑巾 2 枚

9 日(火)	①～④限 課題考査または授業 ⑤⑥限 LHR ⑦限 部活動説明会
10 日(水)	⑥限授業 課題考査 クラス役員選出
11 日(木)	⑦限 総合 生徒会各種委員会
12 日(金)	⑥限 離任式
15 日(月)	部活動集会
16 日(火)	⑦限総合 検尿
23 日(火)	⑦限 総合
24 日(水)	④限生徒大会 ⑤⑥限新入生歓迎会
25 日(木)	⑥⑦限アイヌ文化講演会
30 日(火)	⑦限 総合

◎保護者等のみなさまへ

新 2 年生の電話番号(直通) 0748-22-7501

◇4 月以降の欠席・遅刻等の連絡は 8:15 までにこちらの番号へお願いいたします(8:20 から職員打ち合わせになります)。今までの番号は、新 1 年生にかかります。ご注意ください。

